

サンパウロ大学への協定校留留学 月例報告書（12月分）

大学の授業の後期が終わり、長期休みに入りました。多くの学生は実家に帰り、クリスマスと年末年始を家族と過ごすようです。ブラジルの社会が全体的に休暇モードに入り、様々なことが停止しており、日本の社会との違いを大きく感じました。他大学からの日本の留学生も2月で帰ってしまう人がほとんどで、最後の思い出作りにたくさんの旅行やお出かけをしました。これまでもブラジルが好きでしたが、人間関係や素敵な場所、文化を経験したことでさらに大好きになり、半年後の帰国が来てほしくないほどブラジルに魅了されました❤️

BOIÇUCANGAのビーチ

大学の友達19人でサンパウロ州のサンセバスチャン市にあるビーチに旅行に行きました。3泊4日の短い期間でしたがリラックスできてとても充実した時間を過ごすことができました。人数が多かったので3棟の宿を借り、それぞれで朝食や夕食を作りました。私の棟では料理中に音楽をかけたせいで、踊りと歌が止まらずお酒も飲み始めて、食べ始めるのは遅れましたが、最高に楽しい時間でした。



クリスマスの時期が近かったので、アミーゴ・セクレトとアミーゴ・ダ・オンサというプレゼント交換をしました。ブラジルで一般的なクリスマス行事で、事前に組み合わせられた友達にプレゼントを買い、自分がプレゼントを渡す相手の名前以外の特徴を言って、周りの人が予想してから渡すというものです。

これらの2つの違いは前者が普通にもらってうれしい良いもので、後者が意地悪な意味が込められている悪いものです。日本では相手がもらってうれしくないプレゼントをあげることはなかなかないので、選ぶのが難しかった上に、あげる前に相手の悪いところ、傷つかない程度の悪口を言う必要があったので、それも考えるのが大変でした。

遊園地HOPIHARI

ほとんど絶叫系しかない遊園地に行ってきました！ですが...ケガ、打撲などは当たり前で安全性はほぼギリギリのレベルでした👉一番初めに乗ったのがジェットコースターだったのですが、私たちの番の前で機械の故障が発生し、点検して10分後くらいにまた運転再開しました。その時の私は、乗り物の怖さではなく、けがなく、生きて帰ることができるかの怖さの方が大きかったです。最も驚いたことは、全ての乗り物で荷物を預けることができない点です。そのため、水に濡れるアトラクション・急落下・高速・逆さまでも荷物を足の間で抑えている必要がありました😓



日本人駐在員の方々との交流会

ブラジルに駐在している日本人の社会人の方たちと留学生が交流する「留学生の会」というのが半年に一回開催されており、今月開催されました。様々な業種の駐在員の方々と将来の就職の話や、人生について指定されたトピックについてお話しする機会があり学生ではない立場からの意見を聞くことができ、何を大切にすべきなのか考えることができました。

- ブラジルと日本の働き方の違いについて、挙げられた点は、
- ・優先順位の違い：ブラジルは家族→友達→仕事の順で、日本とはほとんど逆であり、家族の繋がりが強いこと
 - ・先を見る想像力の違い：日本では、この仕事が遅れたら、あれが遅れるなど考えるが、ブラジルは、目の前の自分の分だけを見て仕事している人が多く、それが原因でいろんなことが遅れていくこと
 - ・つじつま合わせ：ブラジル人は、仕事は遅いが、期限が定められていることや、自分たちの予定に不都合な仕事がある場合はどうにかして必ず間に合わせる能力を持っていること
 - ・就労時間の守り方：日本は出勤時間を守り退勤時間は残業などで遅くなる人が多いが、ブラジルは出勤時間に遅れることはあっても、退勤時間はきちりと守ること

日本にいるときには感じるこのできなかつた、このような違いについて気が付き、自分の価値観を見直すきっかけになりました。



夏の暑いクリスマス

待ちに待った、夏のクリスマスを経験することができました！ショッピングモールや街中にクリスマスのデコレーションが施され、クリスマス当日の夜には花火が上がりました✨
ブラジルに来てから仲良くなった、同じ建物に住む方（ばあちゃん）の家族と一緒に過ごし、人生で初めてクリスマスをしっかり祝いました。家庭によって差異はあると思いますが、24日の夜0時まで起きていて、25日が変わったらみんなでおめでとうを言い合います。それまでは、ご飯を食べたり、アミーゴ・セクレトをしたりしていました。25日は一日中一緒に過ごし、ゲームやお話をして夜までゆっくりとした時間を過ごせました。ばあちゃんの両親が日本人だったため、料理は海苔巻きや稲荷、サーモンの刺身など、日本のものもあれば、鶏や豚を焼いたものなどブラジルらしい食べ物も並びました。そしてデザートとフルーツもたくさんあり、ずっとお腹がいっぱいでした。ばあちゃんからは、「もう一人孫が増えた！」と言ってもらい、周りの家族からも、別の人からお土産でもらった日本の食品の食べ方を聞かれたり、日本でクリスマスの過ごし方について聞かれたりして文化交流ができました。すべての会話がポルトガル語で、100%理解することはできませんでしたが、言葉を覚えたり、表現を教えてもらったりして、文化を学びながらポルトガル語の環境に浸ることができたことは、一生の思い出に残る価値のある時間になりました。

新年もばあちゃんの家族（約50人）が集まるお祝いに私も呼んでくれたので、一緒に過ごす予定です。人数の多さに圧倒されそうですが、新たな出会いと経験を楽しみにしています!!

これから本格的に夏に入り、暑くなってきました。体調管理に気をつけながら、まだ行ったことがないブラジルの色々な場所を知っていきたいです。学校の友達とも仲がさらに深まってきたので、イベントを全力で楽しみたいと思います。

どこに行くにしても、安全面には気を使わないといけないのが、疲れますが、慣れてきた頃が危ないので、油断はしないように注意して、2026年の留学生活も充実させていきたいです！😊